

米国カリフォルニア州 核果類は強い需要で価格が上昇か

FreshPlaza 2023年5月19日

カリフォルニア州の核果類の出荷シーズンが始まるに当たり、生産者や出荷業者は同州の果実の供給に圧力がかかることを承知している。プリマワオナ社(同州の核果類生産・販売業者)の営業課長であるマウリシオ・ヒメネスカストロ氏は、「需要はかなり強く、特にすべての出荷が遅れている。小売業者らは売り場を商品で埋めたがっている。今年カリフォルニア州にも影響を与えているのが、ジョージア州などの南部の州が悪天候のために大規模な不作となったことだ。そのため、カリフォルニア州産で売上げの多くをカバーすることになる。全体を通してかなり良い需要があるシーズンを期待している」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

とはいえ、カリフォルニア州産核果類の出荷シーズンも、寒さと雨が重なって、今年は従来と比較して約3週間遅く始まる。「今年の初めに記録的な雨が降り、気温が低い日が多かったため、果実の成熟が遅れた。」

プリマワオナ社は先週の金曜日に果肉の黄色いモモとネクタリンの収穫を開始し、今週は果肉の白いモモとネクタリンの収穫を始めている。約3週間後にはアンズとスモモの収穫が始まる。出荷シーズン全体としては、10月中旬まで続く。「8月末か9月の第2週までに終了する業者が多い。弊社では、10月の第2週まで収穫を行うプリマガッティと呼ばれる晩生のモモ品種があり、出荷期間が長い。」

早い時期の供給が逼迫

出荷量は昨年と同程度である。「一部の業者は出荷シーズン序盤に、特にネクタリンとスモモで影響を受けた。一部の果樹の着果量が少ないため、シーズンの前半は全般的に逼迫する。しかし、6月中旬から6月下旬には、もっと通常の出荷量になるはずだ。」

同氏はまた、今年の果実には品質的な強みが多くあると付け加える。「果実の食味は良くなりそうだ。適切な時期に低温時間が長かったことが、風味の良さに貢献している。サイズも良いものになるだろう。早生の果実では、昨年よりもほぼ1サイズ大きくなっている。したがって、今年はサイズ、食味、風味の点で良い年である。」

価格に関しては、需要が強いため、記録的な高値であった昨年よりも強気の設定になりそうだ。「他の品目の不足により、強力な価格設定のチャンスとなっており、これはシーズンを通して維持されると思う。シーズン序盤からかなり力強く始まり、その後少し落ち着くだろう。価格が安定しても、需要の増加と他州の不作をカバーする必要性から、昨年の実績に上乗せした価格となることを望んでいる。」

執筆者: アストリッド・ヴァン・デン・ブローク